



◇◇ 第30号のダイジェスト ◇◇

1. 1・2年生合同のレシテーション大会が、初めて開催されました。台詞は同じなのに十人十色のレシテーションが楽しく、パワフルに披露されました。1年・2年、お互いの良さを引き出す素晴らしい機会となったのは間違いありません。
2. 2年生の意見文発表会に参加しました。素敵な発表が続く中、感じたことは、人に自分の意見を聞いてもらう機会が1年から用意されている南郷中生は幸せだなと強く感じました。南郷中の良さは教科の取り組みからも生まれているのです。
3. 3年生にとっての公立入試、1・2年生は期末試験を迎えます。お互い健康に留意して、感染症等がはやらないよう留意して過ごしましょう。

◆◆ 1・2年生合同のレシテーション大会が開催され、大変盛り上がり、収穫も大きかったです。 ◆◆

今まで別々に開催されていた1・2年のレシテーション(英語暗唱)大会を、今年度は合同で開催しました。



はじめに 先生が挨拶し、「先生と組んで始めたレシテーション大会も27年の歴史を持つに至りました。椅子にかしこまり固くなることなく、エネルギッシュに自由に表現できるレシテーション大会は、素晴らしい伝統ですよ。」と、参加者にエールを送ってくださいました。私は、三浦市の指導主事として、葉山の指導主事と英語指導についてよく話し合っていました。(先生の訃報に接して大変残念に悔しく思ったことをよく覚えています。)その行事が27年南郷中で続いています。親子2代で経験しているご家庭もあるほど大切な行事になっています。

さていよいよ生徒の登壇です。1年生は、昨年度長柄小で挑戦した経験からか、あがることなく堂々と演説しています。葉山小出身の生徒もそのいい影響からか、堂々とそして楽しそうに代表としてレシテーションを全身で味わっているようでした。

そんな1年生の活躍に、2年生が刺激されないわけがありません。一人一人様々な表現で全力のパフォーマンスが続きます。1年生の前で繰り広げられる2年生のパワーほど南郷中の底力を押し上げてくれるものはないでしょう。台詞は同じなのに、十人十色の見事なレシテーションが繰り広げられました。

講評で 先生が「お互いの良さを引き出す素晴らしい機会でした。」と感動を覚えながら語ってられました。たくさんの保護者の方々も詰めかけてくださり、大変ありがたかったです。私の言葉が足りない部分はどうか世間話で地域の方々に伝えていただければと願っています。

コンテストの結果は以下の通りです。

2年		1年	
1	2 A	1	1 B
2	2 C	2	1 A
3	2 C	3	1 C
4	2 B	4	1 C
5	2 B	5	1 C

TOP 5に入らなかった皆さんも、とてもよく頑張っていました。皆さんに大きな拍手を送ります。

◆◆ 2月2日（金）には、2年生の代表による意見文発表に立ち合わせてもらいました。 ◆◆



発表者と発表題名は、（2 A）「視つけてほしい、一生モノを」、
（2 C）「暴言、悪口に対する考え方」、（2 B）「わたしたちと同じ生活をするには」、
（2 C）「一人ひとりの意識と環境問題」、（2 A）「後悔を満足に変えるために」、
（2 B）「いじめを他人事と考えるはいけない」です。この6名の発表を、2学年全員が真剣に聞きながら、受け止めていたのが印象に残りました。ですので、講評では以下のような趣旨の話を伝えました。

<この場を借りて、私が講評で生徒に伝えた内容を紹介させていただきます。>

私は、南郷中学校の特色として、特に、英語のレシテーションや国語の意見文発表の組み立てが、3年間にわたるもので、集大成として文化祭のステージが用意されていることは、魅力的だと思っています。皆さんが目指すステージとして『いいゴール』が用意されているね。頑張る目標があっていいね。」と思っているのです。でも、目標はそれだけではありません。ステージに行けなくてももっと大切なことがあるのです。

この意見文発表やレシテーションは、全員が参加して1年生からつくられています。だれもが中学校生活3年間で少なくともその機会が与えられている事こそが重要です。

原稿用紙3～5枚といえ、声に出して読めば5分から7分近くの時間になるのではないのでしょうか。その5分くらいの時間は、クラスみんながあなたの考えに耳を傾けて、聞いてくれているのです。

日本中の中学校で行われる生徒会の立候補演説でも、聞く側が5分近くの話をも真剣に心を傾けて聞いてくれる場面はあまり無いでしょう。私が知る限り、自分の考えをクラスみんなが5分近く耳を傾けてくれる場面がある生徒は、全国的に言えばほんの一握りの中学生に過ぎないことが事実だと思っています。その生徒が何を考えているのか、本当のところは分からず、見過ごされ、相手にされないでいるのが、残念ながら普通の世界なのかもしれません。

3年間を通し、日常的に仲間の声・発表に、集中して耳を傾けている南郷中の生徒のみなさんには、えっ？と思うくらいの話だと思いますが、だからこそ皆さんは幸せなのです。南郷中学校がすごくいいなと感じる本質的な部分は、お互いが教科の勉強を通して、実は深いところでお互いを理解し合っていることにあるのだと先生は信じて疑いません。

今回発表ステージに来ることができた6人の皆さんは、3年での最終ゴールを再び目指してほしいと思っています。でもそれだけでなく、他の仲間の意見に耳を傾けることの価値をよりしっかり捉えて、南郷中学校の本質的な素晴らしさを仲間とともに味わっていただけることの価値を、友達に級友に語る人であってほしいと願います。

◆◆ いよいよ入試本番を迎える3年生が多くいます。 ◆◆

神奈川県にも久々の大雪が降り、交通機関等に乱れが生じましたが、7日に志願変更手続きが終わりました。県全体では初めてのインターネット出願で様々な混乱があったのですが、担当の努力が実り葉山町では大きな混乱なく手続きが終わりました。

いよいよ志願校へ勝負する3年生。一夜漬けで体調を崩すことなく、感染症等に留意して、万全な体調で試験に挑んでほしいと願います。皆さんの頑張りが花開くことを期待してやみません。1・2年生の皆さんも自身の期末試験への備えも含めて、校内全体の感染症等の流行を防ぎつつ、寒暖差が激しい日々がしばらく続くようですが、健康の維持に努めていきましょう。

P.S) 上記のように書いていたのに、私自身が陽性判定となり、学校を休むことになってしまいました。発行日が予定通りでないことお詫びします。

